

みたけの杜

経営方針

- 1 人権尊重を第一に考え、利用者を「ほめる・みとめる・よりそう」姿勢によって、「利用者中心の支援」を進めていきます。
- 2 地域の障がい児・者やその家族が、必要な支援を受けられるよう、セーフティネットの役割を發揮します。
- 3 利用定員充足に向けた取組みを行い、経営改善につなげます。
- 4 事業のあり方を検討し、必要な見直しを進めます。
- 5 職員が、「称賛・承認・共感」を伝え合う、働きやすい職場を目指します。

■ みたけの杜

[障害者支援施設（施設入所支援、生活介護、就労移行支援（休止中）、就労継続支援 B 型、短期入所）、日中一時支援事業]

■ 地域生活支援センター「かんばす」

[生活介護]

■ 共同生活事業所「みたけ」

[共同生活援助（介護サービス包括型）、自立生活援助、短期入所]

■ 放課後等デイサービス「ぼけっと」

[放課後等デイサービス、児童発達支援、日中一時支援事業]

■ 放課後等デイサービス「とれいん」

[放課後等デイサービス、児童発達支援、保育所等訪問支援、日中一時支援事業]

■ 放課後等デイサービス「くれよん」

[放課後等デイサービス、日中一時支援事業]

■ 相談支援事業所「みたけ」

[障害児相談支援、特定相談支援、一般相談支援]

■ みたけの郷指定居宅介護支援事業所

[居宅介護支援（介護保険のケアプラン作成）]

■ みたけの郷デイサービス

[地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業、基準該当生活介護（障害福祉サービス）]

取り巻く環境

岩手県全域で事業を展開している当法人の中で、人口が多く、社会資源も豊富なこの地にあるみたけの杜グループでは、どの方も住み慣れた地域で暮らし続けられることを目指しています。みたけの杜グループには、児童期から成人期、高齢期の支援を行う、9つの施設・事業所があります。様々な年代の方に対し、その思いと固有のニーズを受け止め、その方が望む暮らしや将来を共に考え、カタチにできる職員集団であることを目指しています。特に、児童期の安全と発達支援、成人期の地域移行の推進、高齢期における地域生活の維持に取り組めます。利用者様一人ひとりの望みが叶い、地域福祉の向上に寄与できるよう、グループ内事業所が強いつながりを持って連携し、関係機関や地域の他の事業所との協働を、より深めていくことが求められています。

令和6年度【事業の重点事項】

1 人権尊重を第一にした「ほめる・みとめる・よりそう」支援

職員は、常に「ほめる・みとめる・よりそう」気持ちで利用者に接することを心がけ、意思決定支援を基に人権尊重を第一にします。また、関係研修の計画的な実施と、自らの実践内容の検証を行い、人権保障の担い手である自覚と虐待防止の意識を徹底させる取り組みを、継続して行います。

2 地域移行、地域生活を維持する支援の充実

施設入所支援から地域へ、グループホームから単身生活へご希望される方へ、地域移行を推進し、地域の暮らしを維持するための支援を行います。新規事業の自立生活援助では、安心して単身生活にチャレンジし、地域生活を継続するために必要な支援を行います。

3 地域ニーズに対応したセーフティネット機能の発揮

滝沢市の地域生活支援拠点等の開始に伴い、相談支援事業所「みたけ」、みたけの杜、共同生活事業所「みたけ」では緊急短期入所の調整・受け入れを行い、地域の他施設・事業所と常に情報共有する等連携し、地域のニーズに応えるよう努めます。また、グループ内のBCPの見直しや備蓄の適正化等、災害対策を強化すると同時に、滝沢市福祉避難所としての役割を果たすよう努めます。

4 活動の充実による利用者の確保・経営改善と、事業のあり方検討

みたけの杜グループの9つの施設・事業所それぞれが、特色と魅力のある活動を創るよう努力し、選ばれる施設・事業所を目指します。また、満足度調査等でご意見を聞き、支援内容の検証と支援技術の向上に努めます。

サービスの質の向上と両輪で、利用率を上げ経営改善を図るとともに、業務の効率化を推進し、安定した経営を目指します。安定経営の一環として、地域の情勢を勘案したうえで、今後の事業のあり方検討を進めます。

5 常に「称賛・承認・共感」を伝え合う「お互いさま」の職場づくり

職員の経験年数や職責等に関わらず、「称賛・承認・共感」の言葉を伝え、職員が自身の気持ちや意見を言えて認め合える、働きやすい職場づくりを進めます。